

第11回 鎌倉名画座「秋日和」

今回で11回目を数える鎌倉名画座では、これまで鎌倉に縁の深い小津安二郎監督作品を多く取り上げてきましたが、今回も皆様からご要望の多い「秋日和」（1960年公開）を上映いたします。

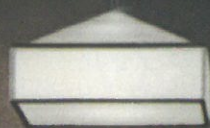
今回はゲストスピーカーとして、「秋日和」主演女優・司葉子さんをお迎えして

映画にまつわるお話をいただきます。

小津安二郎監督の世界をご堪能ください。

日 時	2016年 2月 4日（木） 12:00～ 整理券配布 13:00 開場 13:30～トーク 14:00～上映
会 場	鎌倉生涯学習センター《きらら鎌倉》ホール （JR鎌倉駅東口徒歩3分・若宮大路沿い）
料 金	全席自由 前売り券1,200円 当日券1,500円 （但し、前売り券完売の際は当日券は発売しません） ※12:00よりホール入口付近で、一人一枚ずつ整理券を配布。 整理券の番号順に入場していただきます。
チケット取扱い	《店頭販売》 島森書店（JR鎌倉駅東口） たらば書房（JR・江ノ電 鎌倉駅西口） きららカフェ（JR鎌倉駅東口・鎌倉生涯学習センター 1F ロビー） 鎌倉芸術館 1Fインフォメーション（JR大船駅「東口」または「笠間口」より徒歩10分） 鏑木清方記念美術館 鎌倉文学館 《電話予約・お問い合わせ》 （公財）鎌倉市芸術文化振興財団 ☎ 0467-23-3755（火～土 9:00～17:00 年末年始休業 12/28～1/4）
主 催	（公財）鎌倉市芸術文化振興財団
後 援	鎌倉市

第11回 鎌倉名画座



秋日和

2016.2.4【木】

全席自由：前売り1,200円 当日1,500円

※2015年12月1日発売開始。前売り券完売の場合、当日券はありませんので、お早めにお求めください。

※当日 12:00よりホール入口付近で、おひとり1枚ずつ整理券を配布し、整理券の番号順にご入場いただけます。

■チケット取扱い場所

島森書店(鎌倉駅東口) たらば書房(鎌倉駅西口)
きららカフェ(鎌倉生涯学習センター1Fロビー)
鎌倉芸術館チケットインフォメーション窓口
鎌倉文学館 鍋木清方記念美術館

■電話予約&お問い合わせ

(公財)鎌倉市芸術文化振興財団

TEL 0467-23-3755

(火~土9:00~17:00 ※12/28~1/4は休業)

鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)ホール
鎌倉市小町1-10-5 (JR鎌倉駅東口から徒歩3分)

13:00 開場

13:30~トーク/
司葉子さん(女優)

14:00~上映
「秋日和」



「秋日和」に出演された司葉子さんをゲストに、撮影にまつわるエピソードなどをお話しいたできます。

●解説

鎌倉に暮らし、作家・里見淳と親しくしていた小津安二郎監督が里見の原作をもとにシナリオ化した作品。長年、多くの小津作品で娘役をつとめてきた原節子が初めて母親役を演じており、小津が好んでテーマとした「父と娘」を描くのではなく、「母と娘」の話になっているところが他の小津作品とは違った趣向になっている。また、カラー作品の特性を生かし、小道具として使われている梅原龍三郎や山口蓬春など、大家の絵画作品が作品に彩りを添えているのも見どころの一つである。



秋日和

128分 カラー 1960年11月13日公開

監督／小津安二郎 原作／里見淳 脚本／野田高梧、小津安二郎 製作／山内静夫
 撮影／厚田雄春 編集／浜村義康 音楽／斎藤高順 制作／松竹大船撮影所
 出演者／原節子、司葉子、佐分利信、中村伸郎、
 佐田啓二、岡田茉莉子、沢村貞子、岩下志麻 ほか

●あらすじ

亡き友・三輪の七回忌に集まった間宮（佐分利信）、田口（中村伸郎）、平山（北竜二）の三人。未亡人の秋子（原節子）とその娘アヤ子（司葉子）と談笑するうち、アヤ子の結婚が話題に上る。三人はなんとかアヤ子を結婚させようと画策し、後藤（佐田啓二）を紹介するが、アヤ子は母親を一人にすることが気がかりで結婚に踏み切れない。

アヤ子を結婚させるためには、まず秋子の再婚が先、と考えた間宮と田口は独身の平山をたきつける。

一方、間宮からその再婚話を聞かされたアヤ子は秋子をなじるが、何も知らずに戸惑う秋子。秋子から再婚などしない、と聞いたアヤ子の友人・百合子（岡田茉莉子）は憤慨し、間宮たち三人を散々にやりこめる。

ほどなくして誤解も解け、伊香保へ旅に出た母娘。秋子は「自分は再婚せず、一人で生きていく」という決意を伝え、後藤との結婚に向けて娘の背中を押す。

後日、娘の結婚式を終え、アパートに戻った秋子は静かに微笑を浮かべるのだった。



名匠小津安二郎監督の最高名作



1960年公開当時のポスター。